

Bellmark Shimbun

ベルマーク新聞 9月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

ベルマーク「夏休みに学んだよ」

自由研究のため親子で財団見学、続々



ベルマーク財団には7～8月、夏休みの自由研究でベルマークを学ぼうと、多くの子どもたちが来てくれました。

◇

埼玉県入間市立藤沢小学校3年のけいさんは、両親と、妹で幼稚園年長のゆいさんと見学。倉庫にあるベルマークの小包を見て「切手が貼ってあるのとなひがあるのはなぜ?」。レターパックなどを使う学校も多いからです。

千葉県市川市立新井小学校6年の鞠子正樹(まりこ・まさき)さんは、お母さんの仁美さんと一緒。「ずっと財団に来たかった」そうで、クリスマスにももらった書籍「ベルマークのひみつ」が宝物です。過去10年のベルマーク一覧表を見て「フォントが違う」「イラストが変わった」と、次々と違いを見つけました。

東京都荒川区立立土小学校3年の吉藤心菜(ここな)さんは「おばあちゃんがマークを集めていますが、集めたその後を知りたい」と、お母さんの美来さんと

訪問。たくさんの質問を書いたメモを用意してきました。成果は、B4版で最大50ページ(!)にまとめるそうです。

東京都北区立滝野川小学校1年の詩織さんは、初めての自由研究です。お父さんの敦さん、3歳の妹の綾音さんと一緒に来ました。一覧表を見て「学校で配られたよ」、ベルマーク商品の展示に「こんなところについて」「これはよく買うよね」と素早く反応。綾音さんと一緒に倉庫の棚で記念撮影しました。

静岡県沼津市立原小学校6年の秀島有希菜さんは、母親の佐恵子さん、姉の有咲さん(中3)、弟の匠くん(小3)と在来線で4時間近くかけて来ました。「なぜマークはベルの形?」「一番低い点と高い点は?」と多彩な質問を投げかけます。約1時間の見学の後、次は有咲さんの宿題のため、都内の美術館へ。

群馬県太田市立太田中学校3年の木村帆香(ほのか)さんは、双子のお姉さんの遙香(はるか)さん、お父さんの稔さ

んと訪問。太田中は月1回、ボランティア委員会がマークを集めて財団に寄贈しており、帆香さんは委員長です。海外援助について興味があり、NGOを通じアジアの子どもたちを支援しているとの説明に聞き入っていました。

千葉県船橋市立湊町小学校5年の鈴木結菜(ゆな)さんは、「地震」を調べるうちにベルマークの被災校支援にたどり着きました。お母さんの淳子さんと財団を訪れ、送られてきたマークを見ながら「破れていても平気ですか?」。職員が判別して有効なものは加算します。

同じ湊町小学校2年の福島幌大(こうた)さんは、ベルマークにハマリ中。お母さんの早苗さんによると、スーパーでは商品を裏返してマークを確認し、ついているほうを持ってくるほどの「ベルマーク愛」の持ち主です。おうちに帰った後も資料や動画を復習し、大きな模造紙にまとめた自由研究を写真で送ってくれました。ありがとうございました。



① 秀島さん一家と財団職員 ② 福島さん親子 ③ 吉藤心菜さん
④ 詩織さん(右)と綾音さん ⑤ 鈴木さん親子 ⑥ 鞠子正樹さん
⑦ 木村さん一家 ⑧ けいさん(右)とゆいさん ⑨ 福島幌大さんの出来上がった作品

お買いもの計算式、10月から変更

消費税8%→10%への引き上げに対応

消費税の引き上げに伴い、ベルマーク預金によるお買いものにも10月1日から10%の税率が適用されます。ご注意ください。8%の税率が適用されるのは、基本的に9月30日財団着(消印有効)の注文書の分までです(※)。

消費税の計算式は次の通りです。

旧:「(本体価格×90%)×8%」

新:「(本体価格×90%)×10%」

財団HP「ダウンロード」→「各種申込書」に、10%の消費税に対応した注文書を用意しました。また、10月発送の「お買いものガイド2019年度後期号」にお知らせ文書と新しい注文書を同封します。

今後古い注文書を使うときは「8%」を「10%」に修正して計算してください。

また、今回の税制改正では、食料品の消費税は8%のままです。ベルマークのお買いものでは非常用の保存食品などが該当します。こうした品物を買う場合は10月以降でも「8%」の税率で計算してく

ださい。

以上、不明な点があれば、いつでも財団までお問い合わせください。

※東芝エルイーソリューションへのご注文は、同社の社内事情により、注文書の期日ではなく、商品が学校に届いた時点の税率が適用されます。

へき地校等164校に備品・教材贈る

ベルマーク財団2019年度の支援

ベルマーク教育助成財団は2019年度も、全国のへき地学校、特別支援学校など計164校に、学校に必要な設備品や教材などを贈りました。支援した学校名はこの新聞の6ページに掲載してあります。

へき地校への支援は1960年に始まったベルマーク運動の原点です。今年度の対象校は100校。それぞれに、希望する30万円相当の備品・教材と、朝日ジュニア学習年鑑を贈りました。

特別支援学校は計56校が対象。養護学校には30万円相当の希望の備品・教材を、盲学校には拡大読書器を、ろう学校には短焦点プロジェクターを贈りました。また、

病院などに設けられる4つの院内学級にiPadなどを、さらに海外の日本人学校・補習校4校に希望する教育用品を寄贈しました。

こうした支援のもとになる資金は、ベルマーク運動に参加している全国の学校・団体による日々の活動から生まれています。PTAがベルマーク預金を使って、自校のための教育用品を買ったと、その品物を扱う協力会社から代金の10%がPTAを経由して財団に寄付されます。これが、さまざまな支援活動の原資になります。

学校で使う「モノ」の援助だけではなく、財団ではへき地校を対象にした様々な「出前教室」を開いています。「一

輪車教室」では、全国大会などで優勝した経験のある高度な技術を持つ講師が、基礎や技術を教えるとともに、素敵な模範演技も披露してくれます。また、専門の異なる複数の講師が趣向を凝らした「理科実験教室」もあり、ともに全国各地で開催中。今年度は計12校での実施を予定しています。

◇

そのほか、東日本大震災で被災した東北の岩手・宮城・福島各県の小中学校には総額1200万円の支援を実施します。対象校は現在選定中です。また被災地関連の寺子屋活動などを行っている4団体に各50万円を助成します。

怒涛の実験ラッシュに大歓声

岐阜・郡上市立高鷲北小で理科実験教室

郡上市高鷲町の「ひるがの高原」は長良川の源流域で、「分水嶺公園」という名の公園もあります。川の水が太平洋と日本海に分かれて流れる、日本列島の「背骨」ともいべき高原。その郡上市立高鷲北小学校の体育館で7月27日、NPO 法人サイエンスものづくり塾エジソンの会（華井章裕代表）の8人による今年度1回目の理科実験教室が開かれました。ベルマーク財団がへき地校で実施するソフト援助です。地元の郡上ケーブルテレビも取材にきました。

午前9時すぎ、約80人の児童らを前に、サイエンスショーが始まりました。子どもたちの間に飛んだ風船が、空中でぱーんと破裂します。「やってみたい人?」「はい!」「はい!」

そこからは怒涛の実験ラッシュ。コップからこぼれない水、沈まないビー玉、手のひらで一瞬燃える不思議な綿、踏んでも痛くない600本の釘……。箱の穴から煙の輪が飛び出す空気砲の実験では、みんな煙に触れようとしてびよんぴ

ょん。「コップの中見せてー」「見せたらバレルわ」。軽妙なやりとりを続けながらも、華井さんは時折「これは5年生の圧力のところで習います」「今は中学校で勉強します」と説明。でもそれ以上は言いません。「どうしてそうなるか、なんて今覚えなくていい。理科が嫌いにならなければ」と華井さん。

ショーに続いては、ワークショップ。「三角錐の万華鏡」「くるくるレインボー」「ビー玉オルゴール」など、魅力的な名前のものづくりを体験します。ひとつ作るとまた次へ。子どもたちは夢中になって体育館を駆け回りました。

藤木秀泰校長先生は「子どもたちの、とてもいい表情が見られました。ふだんはおとなしい子も、進んで手をあげるなど、積極的に動いていたのがよかった」と笑顔で話しました。6年生の川尻歩南くんは「この教室に参加して理科が好きになりました。サイエンスショーが楽しいです」。教科の担当でも理科係をするようになったそうです。



①「わあー」と歓声が上がる ②さわってみたい! ③ビー玉オルゴールの製作中 ④空気砲から発射されたスモークの輪

ベルマーク便りコンクール、締切迫る

9月30日の消印まで有効

第34回ベルマーク便りコンクールの締め切りが9月30日(消印有効)に迫りました。応募するだけで、少なくとも2000円の図書カードがもらえるコンクールです。ぜひ作品をお送りください。

ベルマークについて、家庭や子どもたち、地域の人たちに向けた広報物が対象です。マーク収集や活動への協力を呼びかけるお知らせ、イベントの告知や報告、

運動の仕組みについての説明など、ベルマークに関わるものが書かれていれば何でもOKです。1枚紙のプリント、冊子、広報紙の1ページなど形式は問いません。カラーまたは白黒、手書き、パソコン利用の電子データ等、何でも結構です。過去1年以内(2018年10月1日～2019年9月30日)に製作されたものが対象です。何回か発行されている場

合は、年間の活動状況がわかるよう、なるべく多くの作品をお送りください。

【あて先】〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 ベルマーク財団「ベルマーク便りコンクール係」

【記入事項】学校名(「～市立」よりご記入ください)、PTA番号、担当者のお名前、連絡先

いただいた作品は財団職員で審査し、上位10校には優秀賞として賞金3万円と額入り表彰状を贈ります。そのほか、佳作・特別賞を約10校選び、各1万円と額入り表彰状を贈ります。ほかの応募団体には参加賞として2000円の図書カードを贈ります。

入賞校は11月に財団ホームページで発表します。

ミャンマーの子どもたちに読んでほしい！

茨城・神栖市立神栖第四中学校が「絵本を届ける運動」に初参加



- ①つくった絵本を手に、笑顔で記念撮影する生徒たちと石津京子先生
- ②位置を合わせてシールをはがします
- ③貼る箇所が多いページも
- ④すてきな絵本が完成しました

茨城県神栖市の神栖第四中学校（生徒419人）が、ベルマーク財団の「教育応援隊」のひとつ、「絵本を届ける運動」に初参加しました。公益社団法人シャンティ国際ボランティア会が、紛争や貧困といった状況下のアジアの子どもたちへ届ける絵本に、現地語の翻訳シールを貼るボランティア活動です。

同校は昨年4月にベルマーク運動を始めた新しい参加校。福祉・奉仕委員会の生徒たちが、収集したマークの仕分け・計算を担っています。担当の石津京子先生が「教育応援隊」のチラシを見て応募しました。

8月20日、同校は3日間の「サマースクール」の初日でした。先生が学期中にはない特別授業を用意するもので、そこに「絵本を届ける運動」も組み込まれ、1、2年の23人が受講しました。

絵本は「ええところ」「へいわってどんなこと？」など5種類。貼るシールは、ミャンマーの公用語であるビルマ語です。生徒たちは真剣な眼差しで集中して作業します。ポイントは、シールの文字を囲んでいる枠線の1ミリ程度内側を切り、枠線が残らないようにすること。そして、文字の上下や貼る位置に注意しながら、元の日本語が見えないようにシ

ールを貼ることです。「時間はかかっていいから丁寧にね」と石津先生。

翻訳シールを貼り終えると、今度は巻末に署名シールを貼ります。作業者を、ひらがなとビルマ語で書き込むのです。曲線がつながったようなビルマ語の文字に、生徒たちは「難しい」「もっと字の間隔を空けないと」など言いつつ、対照表を見ながら一文字一文字、気持ちを込めて名前を書いていました。

福祉・奉仕委員として参加した2年の平島雄悟くんは「ベルマーク収集はクラスのみんなに呼びかけています。ビルマ語の文字は不思議。たくさんの人に絵

本が読まれてほしいです」とまっすぐな目で答えました。石津先生は「担当する絵本を各々が読んでからの作業でした。生徒たちは一生懸命頑張ったのでは」と振り返りました。大槻豊校長は「みんなのために役立つ活動が、次へのステップにつながります」と話しました。

神栖市は2011年の東日本大震災で津波や液状化の被害がありました。それを機に同校は、復興支援のイベントを毎年開くようになり、さらに昨年から「神四『絆』プロジェクト」と名前を変えて支援先の輪を広げました。生徒たちによる貢献活動が息づいている学校です。

神栖市のマーク、私たちが仕分けます

2ボランティアグループが「寄贈マーク」活動

茨城県神栖市では社会福祉協議会に寄せられたベルマークを、2つのボランティアグループが仕分け・集計してベルマーク財団に「寄贈マーク」として送っています。5年前から続くこの活動を担うのが、神栖地域の「鐘（ベル）の会」と、波崎地域の「ベルの会」です。

神栖市は2005年に神栖町と波崎町が合併して生まれました。市の社協は神栖に本所、波崎に支所があります。「鐘の会」（会員6人）は月2回神栖本所で、「ベルの会」（同5人）は月1回波崎支所で活動しています。

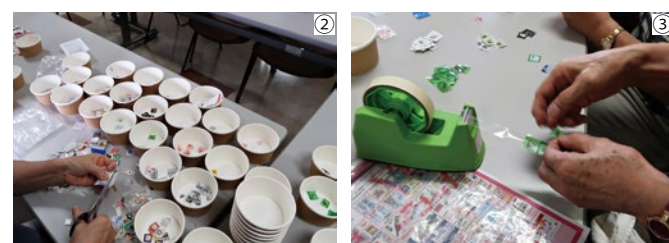
取材に訪れたのは8月20日。案内された部屋に入ると、みなさんが揃ってマークを仕分けしていました。2つの会が顔を合わせるのは初めてだそうです。せっかくならと、声をかけ合って作業を始めたそうです。

市社協が寄贈マークを財団に送る際、仕分け・集計を

した方が早く有効活用してもらえると、2014年2月、ボランティアを広報誌で呼びかけたことがきっかけで、両会が結成されました。太平洋に面した神栖市は東日本大震災で被害を受けた経験がありますが、「私たちは暮らせるから幸せ」と、マークは主に東日本大震災の被災校支援のために送っています。

「家事から離れて好きなことができ、息抜きになります」と話すのは「鐘の会」の堀華代子さん。作業中はみな黙々と没頭することが多いそうです。両会の活動は社協の広報誌などで何度も紹介され、昨年から「親子のマーク仕分け体験」のイベントも夏に開かれています。

今後については両会とも「健康で仲良く末永く続けていきたい」「もっと作業をスピードアップできれば」などと、意気込みを語ってくれました。



- ①左から、「鐘の会」佐藤朝子さん、代表の堀華代子さん、徳増順子さん、「ベルの会」代表の斉藤睦代さん、斉藤温子さん、千葉千恵子さん
- ②作業は手際よく、脱退した会社のマークもひと目で判別する
- ③マークをセロテープでつなぎ止める方法を「鐘の会」が実演した

プチクマぬいぐるみプレゼント

ブルボンが来年6月までキャンペーン

協賛会社のブルボン（ベルマーク番号48）が、人気商品「プチシリーズ」を2点買くと、抽選でプチクマぬいぐるみが当たるキャンペーンを実施しています。ぬいぐるみの大きさは全長24cmで青・赤・紫・ピンク・緑・黄色の6色。どの色が当たるかはお楽しみです。

対象は、ビスケットやおせんべい、ポテトチップスなどプチシリーズ全商品。2020年6月23日（火）までの期間中、毎月240名様、総計2,880名様が当選します。毎月23日が締め切り（消印有効）です。

対象商品に付いているバーコードを2枚1口とし、店頭や同社ホームページにある応募用ハガキか、または郵

便ハガキに貼り付けて、必要事項をご記入のうえ、以下の宛て先までお送りください。

〒101-8691 日本郵便株式会社 神田郵便局 私書箱89号 <毎月24日はプチの日「プチクマぬいぐるみプレゼント」事務局>行

詳細はブルボンのホームページで。問い合わせは同社お客様相談センター（0120-28-5605、月～土曜午前9時～午後5時）へ。

プチシリーズにはベルマーク0.8点が付いています。おいしく食べたあとは、バーコードだけでなく、ベルマークもちよきちよきしてください。



食育は箸使いから…「豆つかみ」競う

フジッコの小学校対抗大会で熱戦



- ① 全員で記念撮影（フジッコ提供）
- ② 正しい姿勢も大切です
- ③ 優勝した慶応義塾幼稚舎チームとゲスト。後列左はフジッコ取締役の荒田和幸さん
- ④ 「まめっ子くん」

協賛会社のフジッコ（ベルマーク番号65）主催の「第12回小学校対抗豆つかみゲームまめっ子くん大会」が8月27日に開かれました。豆や昆布を主力商品としている同社が、和食作法の基本であるお箸とお碗の使い方を正しく学ぶためにつくったゲームキット「まめっ子くん」で競う大会です。

キットの木製茶碗には豆をのせる32個の穴が開いた中ぶたがあります。利き手に割り箸、もう片方の手に茶碗を持ち、1分間に何粒の大豆を穴にのせられるか競います。会場の東京・池袋サンシャインシティアルパB1F噴水広場には8つの小学校から子どもたちと保護者、さら

にメディア関係者らが集まりました。

このイベントはフジッコが取り組む「食育」のひとつ。競技前に司会者が子どもたちにインタビューすると「早寝早起きして朝ごはんをしっかり食べることを教わった」「お米を育てたことがある」などの答えが。どの学校も高い意識を持って食育を実施しているようです。

同社のCMなどで活躍している「2代目ふじっ子ちゃん」元倉あかりさんと、「初代ふじっ子ちゃん」田牧そらさん、そして大相撲・大関の栃ノ心関というゲストが見守る中、競技開始。3人1組のチーム対抗戦で1人2回、計6回分の合計粒数を競います。運動会でもおなじ

みの「天国と地獄」が流れ始めると一斉にお箸を持ち、大豆を穴にのせていきます。茶碗に粒をのせ終わって「おかわり」する姿も見られました。音楽が止まると1分間が終了。静かにお箸を置きます。

しばし作戦タイムやゲストのトークショーがあった後、後半戦に。戦い終えた感想は「さっきより多く豆をのせられた」「練習よりうまくいった」などでした。

優勝は慶応義塾幼稚舎の滝澤怜央さん、高橋茉紘さん、田中塔子さんのチームで合計269粒。副賞の図書券3万円分とメダル、トロフィーが贈られました。過去の最高記録は1分間で46粒でしたが、田中さんは51粒の新記録を樹立し

ました。「人によって違うけど、私はお箸を長めに持つのがおすすめ」と勝利の秘訣を話してくれました。

ゲストの3人も優勝校とのエキシビジョンマッチでゲームに挑戦。栃ノ心関も頑張りましたが34粒でした。「みんな強すぎる。来年はもっと練習して力をつけてきます」とリベンジを誓いました。

大会結果は以下の通りです。

- ① 慶応義塾幼稚舎／269粒
- ② 早稲田実業初等部／253粒
- ③ 世田谷区立奥沢小／227粒
- ④ 小平市立小平第六小／225粒
- ⑤ 川島町立中山小／203粒
- ⑥ 葛飾区立中之台小／189粒
- ⑦ 葉山町立一色小／186粒
- ⑧ 北区立滝野川もみじ小／180粒

文具のワンダーランド、大阪で文紙 MESSE

日本ノート、ナカバヤシ、クツワが出展

協賛会社の日本ノート（ベルマーク番号05）、ナカバヤシ（同52）、クツワ（同55）が、8月6・7日に大阪市中央区のマイドームおおさかで開かれた「文紙 MESSE2019“文具ワンダーランドX”」に出展しました。2004年から続く「文具と紙製品の見本市」です。



日本ノートは、2019年1月にキョクトウ・アソシエイツとアピカが経営統合

した会社です。主力商品のひとつ「カリッジアニマル学習帳・ほうがんノート」は、表紙の動物柄はもちろんかわいらしいのですが、裏表紙が動物のおしりになっているのが面白いのです。11月下旬には「アメコミキャラクター5冊パックノート」を発売予定。営業本部の塩川浩司さんは「子どもたちが楽しみながら勉強するのに適したノートを追求していきたいです」と話してくれました。

ナカバヤシは、従来のノートと比較して約20%も軽量化された「ロジカルエアノート」を出展。「自分の娘のランドセルが重い」という社員の意見から生まれた製品だそうで、点線のガイドラインや縦罫線が入った「ロジカル罫」が特徴です。なんと9月公開予定のアニメ

映画「HELLO WORLD」の作中に登場するそうです。製販カンパニー・企画部の貝樹太郎さんはノートに関して「子どもが使いやすい『プラスアルファ』の機能性を大事にしていきたい」と言います。

クツワのブースでは、来場者が消しゴムを試していました。中に鉄粉が入っており、消しクズを磁石で集められる「磁ケシ」の第2弾、「アニマル磁ケシ」と「おじケシ」で、9月発売です。「弊社には『学校では教えてくれない自由研究』をテーマに、『学び』と『表現』の両方を身につけられるシリーズもあります」と商品開発部の名和朋花さん。子どもから大人まで楽しめる製品の秘訣は「商品開発には新卒社員や20代の若手社員も参加する」ことだそうです。



「AD全国プロ会」がマーク寄贈

あいおいニッセイ同和損保の専門代理店組織

協賛会社のあいおいニッセイ同和損害保険（ベルマーク番号92）の専門代理店で組織する「AD全国プロ会」は8月27日、集めたマークをベルマーク財団に寄贈しました。全国1134の加盟店が今年5月から7月にかけて収集したものです。

東京都渋谷区恵比寿にある同社本社のセンチュリーホールで開かれた「支店プ

ロ会代表者会議」の中で寄贈式がありました。今年4月に就任したプロ会の細江哲也会長が「たくさん入っていると思います。復興支援によりしく願います」と、マークが入った大きな透明箱を財団の高木文哉常務理事に手渡すと、会場は大きな拍手に包まれました。高木常務理事は「このベルマークは、みなさまが協力して集めた善意そのものと思って

おります。マークは、被災地の復興支援に役立たせていただきます」と感謝を述べました。

プロ会からの寄贈は2017年8月、今年2月に続いて3回目。今年度は下期から新たに「ウェブベルマーク」にも取り組むそうです。

今回寄贈されたマークは、これから同社の社員有志が点数を集計します。



AD全国プロ会会長の細江哲也会長（左）とベルマーク財団の高木文哉常務理事

デイサービス施設でベルマーク仕分け

大阪・岸和田の「かけはし」、社会貢献がテーマ

ベルマーク収集・仕分けを始めとした社会貢献活動に取り組むデイサービスが7月1日、大阪府岸和田市にオープンしました。その名も「社会貢献型デイサービスかけはし」。南海本線・岸和田駅から歩いて3分ほどの場所にあり、鮮やかな緑色の看板が目印です。

通所型サービスAに分類され、介護保険の事業対象者や要支援者向けの短時間型デイサービスです。介護認定を受けていない方も相談のうえ参加可能だそうです。紙すきから始めるハガキ作り、カラオケ・笑いヨガ・体操など、思い思いの時間を過ごすことができる憩いの場です。老老介護の疲れを癒すなど、レスパイト(「息抜き」といった意味合い的な役割も担っています。

特徴は、「社会貢献」をテーマにしていること。ドアを開けると、玄関には赤い「ベルマーク回収箱」や「一覧表」、使用済み切手の回収箱、赤い羽根共同募金の募金箱が置かれていました。他にペットボトルキャップや使用済み乾電池なども集めているそうです。

この日は10人ほどがマークを仕分けしていました。「メガネをかけてないから難しいわあ」「ベルマークって昔よう聞いたわ」「こんなん初めて知った」……。そんなことを言いながらも、着々と会社別に分けていきます。

代表を務める植野高志さんは以前、老人保健施設で働

いていました。「機能訓練で折り紙とかをしました、終わったら捨ててしまうんですよね」と当時を振り返ります。それを悲しく思い、自分の職歴を活かしながら「次につながる何か」を生み出すことを考えました。

また、「普段はポイと捨ててしまうものを、『かけはしが集めているからとっておこう』と意識することは、認知症予防のひとつになる」と考えています。「さらに支援につながるんだから『一石三鳥』ですよ!」

植野さんはロゴやイラストの製作もしています。趣味の延長とのことですが、そのクオリティはかなり高く、本を出版したことがあるほどです。施設内にはあちこちに作品が飾ってありました。

課題は「マークを集めたら何の役に立つのかという認識の不足や、マークが小さくて高齢者には分かりづらいこと」などだそうです。「私がしていることは、まだ実験的なものですが、今後はよりよい未来への、新しい支援の道になると期待しています」と展望を語りました。

- ①この日は10人ほどがマークの仕分けをしていました
- ②使い終わったたまごのバックを再利用
- ③玄関には赤い「ベルマーク回収箱」や「一覧表」、使用済み切手の回収箱、赤い羽根共同募金の募金箱
- ④手作りの大きな仕分けパネル



2018年秋にベルマーク大使に任命された、釜木尚美さん。毎日ツイッターで情報発信をし、精力的に活動をしています。アカウント名「ベル・ブック」としてつぶやく内容は、ベルマーク付き商品の紹介から、集計のコツまで、さまざまです。

もとは大阪府摂津市立別府小学校の図書司書で、仕事をやめた現在も同校を拠点に収集を続けています。年に1度マークを送り、貯めた預金で学校の本を買っています。ある日、財団に届いた釜木さんからのメールの末尾には、「ベルマークに関わる人が楽しく活動できますように、というのが私の願いです」と書かれていました。

一体どうしてこんなに熱心に活動してくれるのか、とても気になりました。一度も釜木さんに会ったことがない私ですが、お目にかかってみたいという気持ちが強くなり、メールを送ると、「どこか訪問されるところへついて行ってみようかな」と返信がきました。

ということで、8月某日、一緒に向かったのは東大阪市政府。市をあげてベルマーク収集に取り組んでいる自治体のひとつです。活動の中心となっている監査委員事務局の中尾悟さんに、一緒に会いに行きました。

東大阪市の市役所本庁舎だけでなく、市内7ヶ所のリージョンセンターや、郵便局、新聞の販売所等に赤い回収箱を置き、市民の協力を得ることを心掛けています。課題は、マークが集まっても仕分けが追いつかないこと。中尾さんは、最近読んだというある本から「人間が生きていくモチベーションは社会への貢献感。それにベルマークが当てはまるのではないか」と考えさせられたそうです。「今一度、アクセルを踏み直したい」と前向きに捉えてくださっています。

釜木さんと一緒に

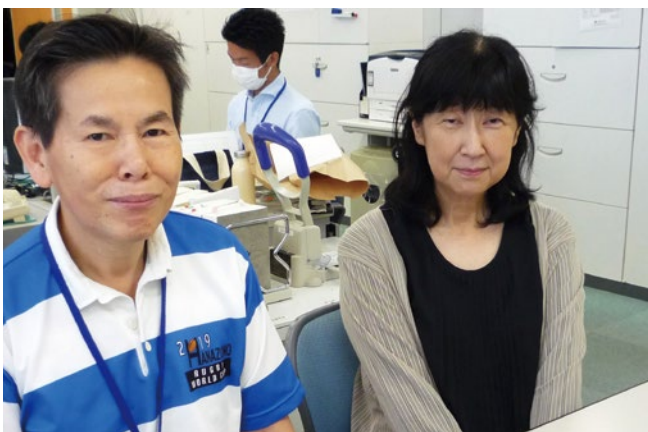
釜木さんは「協賛会社別のウォールポケットを置いたらどうか」と提案。さらに「次の仕分けの際には私を呼んでください。コツを伝授します。同志として頑張りましょう」と話しました。

釜木さんが最初にベルマークと関わったのは「ベルマーク委員にあたってしまった」ことでした。「正直、イラっとしました。しかも『10枚ずつまとめる』というルールだった」。その後、委員長になって初めて、明細さえ記入すればマークは貼らなくてもいいと知りました。今では、マークはバラバラのままの方が時間節約になると、「貼らなくてもいい」を周知させようとしています。

2004年の新潟県中越地震で、被災した旧山古志村の小・中学校への援助にベルマークが使われたと知って感動し、涙が出そうになったといいます。以来、釜木さんの「布教活動」が始まりました。

児童に配布するベルマークだよりには「被災地等の支援にも役に立っている」ことを盛り込みました。マーク収集を呼びかけると、各家庭に意外と眠っている「たんすベルマーク」が集まりました。仕分けを児童が手伝ってくれるようになり、東日本大震災の時には「やんちゃな子」でさえも「これも被災地に届く?」とマークを持つてきてくれて、再び泣きそうになったと言います。

「ベルマークは子どもにとって『錬金術』のようなもの。『寄付すれば』という声もあるけれど、子どもはお金を払えない」と釜木さん。自分たちが集めたベルマークが図書室の本になり、他の子どもたちの支援にもまわるという流れを、別府小の児童は理解しています。ただ預金を貯めるだけではない運動本来の目的が正しく伝わっています。



東大阪市政府 訪問記

by ねろり



釜木さんは「協賛会社別のウォールポケットを置いたらどうか」と提案。さらに「次の仕分けの際には私を呼んでください。コツを伝授します。同志として頑張りましょう」と話しました。

セイコーエプソンが45万点を寄贈

従業員らがインクカートリッジを収集

協賛会社のエプソン販売(ベルマーク番号73)の親会社にあたるセイコーエプソン(本社・長野県諏訪市)から7月24日、ベルマーク45万130点が寄贈されました。

同社の本社や子会社、事業所などの拠点で、従業員らが家庭で使った同社のインクカートリッジを集めて点数化しました。本社総務部の佐藤幸子さんがベルマ

ーク財団を訪れ、束になった点数証明書が高木文哉常務理事に手渡しました。

同社のインクカートリッジは、本社近くにあるエプソンミズベが集約・仕分け作業を担当しています。障がい者雇用に関するエプソンの特例子会社です。回収されたカートリッジは、プラスチックを再利用して、見学者に配布するボールペンになったり、他の製品の部品として

使われたりしているとのこと。

「今回お届けしたのは2016年ころから今年3月までに集めたもの。これからは、定期的にお届けしていきたいです」と佐藤さん。

インクカートリッジ回収の仕組みはエプソンの製品を対象に2004年から始まりました。いわばこの方式の「本家、からの、うれしいプレゼントでした。



「チャリティー年賀状」デザイン募集

 **10月21日必着**

支援金がベルマーク預金に加算される「チャリティー年賀状」(博報堂アイ・スタジオ主催)のデザインを募集する「全国学生デザインコンテスト2020」が8月1日から始まりました。

今年度のテーマは「わたしから、あなたへ。」です。参加は学校・個人の2種類あり、学校として応募する場合は事前に教職員によるエントリーが必要。応募締め切りは10月21日必着です。詳細については、作品募集サイト<https://charity-nengajo.com/entry/index.html>を参照ください。

約100点を入選作品として選び、オンライン上で年賀

状の作成・印刷・配送ができる「スマホで年賀状」「ネットで年賀状」内で、11月下旬から販売されます。購入すると、1枚につき10円がウェブベルマーク協会に寄付されます。

来年1月15日までの販売期間中、最も利用数が多かった作品を「大賞」として表彰します。他に「クリエイティブ賞」なども贈呈されますが、近年は中学・高校からの応募も増えているため、今年度は中高生を対象にした賞も新設されました。

問い合わせは事務局(03-5219-7177・平日午前10時～午後6時、nenga-contest@i-studio.co.jp)へ。



ベルマーク援助、今年度の対象校

へき地学校・特別支援学校・院内学級

北海道【へき地】帯広市 大正小▽北見市 上仁頃小▽網走市 呼人小▽稚内市 増幌小▽士別市 上士別小▽根室市 柏陵中▽八雲町 浜松小▽厚沢部町 厚沢部小▽ニセコ町 ニセコ中▽積丹町 野塚小▽美瑛町 美沢小▽初山別村 初山別小▽猿払村 鬼志別小▽湧別町 芭露学園小学部▽厚真町 厚真中央小▽浦河町 浦河小▽新ひだか町 静内中▽中札内村 中札内中▽幕別町 途別小▽厚岸町 厚岸小▽標茶町 塘路小▽別海町 中春別小【院内学級】東川養護学校(旭川医大病院)
青森県【へき地】田子町 上郷小▽六ヶ所村泊中【特別支援】八戸市 八戸盲学校
岩手県【へき地】遠野市 附馬牛小▽奥州市 大田代小▽岩泉町 小川中【特別支援】盛岡市 盛岡視覚支援学校▽宮古市 宮古恵風支援学校
宮城県【へき地】南三陸町 戸倉小【特別支援】仙台市青葉区 県立視覚支援学校▽気仙沼市 気仙沼支援学校
秋田県【へき地】北秋田市 阿仁合小【特別支援】秋田市 県立視覚支援学校
山形県【へき地】鶴岡市 鼠ヶ関小【特別支援】上山市 山形盲学校
福島県【へき地】鮫川村 鮫川中▽平田村 小平小【特別支援】福島市 県立視覚支援学校▽玉川村 石川支援学校たまかわ校
茨城県【へき地】水戸市 県立盲学校【特別支援】水戸市 水戸高等特別支援学校【院内学級】友部東特別支援学校(こころの医療センター)
栃木県【へき地】日光市 三依小【特別支援】

宇都宮市 県立盲学校
群馬県【へき地】神流町 中里中【特別支援】前橋市 県立盲学校▽みどり市 渡良瀬特別支援学校
埼玉県【特別支援】川越市 塙保己一学園▽草加市 草加かがやき特別支援学校
千葉県【へき地】君津市 亀山中【特別支援】四街道市 千葉盲学校
東京都【へき地】利島村 利島小【特別支援】文京区 筑波大附属視覚特別支援学校、文京盲学校▽江東区 臨海青海特別支援学校▽世田谷区 久我山青光学園▽葛飾区 葛飾盲学校▽八王子市 八王子盲学校
神奈川県【特別支援】平塚市 平塚盲学校
新潟県【へき地】佐渡市 両津中▽南魚沼市 城内小、八海中【特別支援】長岡市 高等総合支援学校
富山県【へき地】南砺市 上平小
石川県【へき地】白山市 白嶺小
福井県【へき地】おおい町 名田庄小【院内学級】福井東特別支援学校五領分教室(福井大医学部附属病院)
山梨県【へき地】丹波山村 丹波中
長野県【へき地】川上村 川上中▽阿南町 富草小【特別支援】木曽町 木曾養護学校
岐阜県【へき地】東白川村 東白川小
静岡県【へき地】川根本町 中央小【特別支援】湖西市 浜名特別支援学校
愛知県【へき地】岡崎市 宮崎小【特別支援】豊川市 豊川特別支援学校本宮校舎
三重県【へき地】紀北町 赤羽小▽御浜町 尾呂志学園中【特別支援】松阪市 松阪あゆみ特別支援学校
滋賀県【へき地】甲賀市 多羅尾小

京都府【へき地】綾部市 上林小
兵庫県【へき地】南あわじ市 辰美小
奈良県【へき地】東吉野村 東吉野小
和歌山県【へき地】高野町 花坂小▽みなべ町 清川小
鳥取県【へき地】南部町 会見第二小
島根県【へき地】浜田市 弥栄中▽益田市 真砂中▽美郷町 大和中
岡山県【へき地】高梁市 宇治小▽新見市 千屋小【院内学級】倉敷東小(倉敷中央病院)
広島県【へき地】福山市 広瀬中▽北広島町 芸北中
山口県【へき地】周南市 須磨小【特別支援】田布施町 田布施総合支援学校
徳島県【へき地】三好市 下名小▽那賀町 相生中【特別支援】徳島市 徳島聴覚支援学校▽三好市 池田支援学校
香川県【へき地】観音寺市 伊吹小【特別支援】高松市 県立聾学校、香川中部養護学校
愛媛県【へき地】大洲市 脇川小▽上島町 生名小【特別支援】松山市 松山聾学校▽西予市 宇和特別支援学校聴覚障がい部門・知的障がい部門
高知県【へき地】室戸市 佐喜浜小▽土佐清水市 下川口小▽仁淀川町 長者小【特別支援】高知市 高知ろう学校、高知若草特別支援学校 国立高知病院分校
福岡県【へき地】糸島市 志摩中姫島分校【特別支援】北九州市小倉北区 小倉聴覚特別支援学校▽福岡市早良区 福岡聴覚特別支援学校、福岡高等聴覚特別支援学校▽久留米市 久留米聴覚特別支援学校▽直方市 直方特別支援学校聴覚障がい教育部門
佐賀県【へき地】三瀬村 三瀬中【特別支援】

佐賀市 県立ろう学校、大和特別支援学校
長崎県【へき地】長崎市 高島小▽大村市 黒木小▽平戸市 南部中▽対馬市 佐須奈小▽五島市 本山小【特別支援】佐世保市 県立ろう学校佐世保分教室▽大村市 県立ろう学校
熊本県【へき地】八代市 泉小▽上天草市 湯島中【特別支援】熊本市東区 熊本聾学校
大分県【へき地】別府市 東山小中▽竹田市 久住中【特別支援】大分市 県立聾学校
宮崎県【へき地】日之影町 高巢野小【特別支援】宮崎市 みなみのかぜ支援学校▽都城市 都城さくら聴覚支援学校▽延岡市 延岡しろやま支援学校聴覚障害教育部門
鹿児島県【へき地】鹿屋市 高隈中▽出水市 大川内小▽薩摩川内市 大甕小、祁答院中▽霧島市 高千穂小▽志布志市 泰野小▽さつま町 求名小▽湧水町 上場小▽錦江町 田代小▽屋久島町 中央中【特別支援】鹿児島市 鹿児島聾学校
沖縄県【へき地】宮古島市 砂川小▽東村 東中▽伊江村 西小▽竹富町 黒島小、小浜中【特別支援】糸満市 西崎特別支援学校▽北中城村 沖縄ろう学校

海外の日本人学校・補習校

バルセロナ日本人学校(スペイン)／ケント日本語補習授業校(イギリス)／サンジェルマン・アン・レイ日本語補習授業校(フランス)／ポート・オブ・サクラメント補習授業校(アメリカ)

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉 7月21日～8月20日
▼岩手県 いわて生協コープくらしの助け合いの会水沢支部 多田香織▼栃木県 高松宏美▼群馬県 岡部瑛里奈▼埼玉県 竹弘美 田原純子 服部由美子 OKIソフトウェアユニオン匿名希望▼千葉県 千葉頭子 小林 馬場陽子 石川幸子 石川ゆみ子 宮崎英樹 関田元子▼東京都 (公社)日本訪問販売協会 佐坂真由美 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)J-MOT 山田こずえ 練馬区立光が丘春の風小学校 住友不動産建物サービス(株)武蔵野市立第三小学校 あいおいニッセイ同和損害保険(株)イオン銀行従業員組合 (株)マトリックス キューアンドエー(株) 日本基督教団小金井緑町教会▼神奈川県 田中宏 牧田知与 下田小学校 匿名希望▼富山県 匿名希望▼岐阜県 服部尚子 岐阜県JAビジネスサポート(株)▼愛知県 長江政則 蛭江富美子 正木みく 中嶋友香 西本麻由里▼三重県 柴田喜健 林尚枝 四日市市立保々中学校▼京都府 小嶋智穂 八木秀子▼大阪府 キヤノンITソリューションズ(株)大阪事業所 スーパー・コート茨木彩都 住谷谷子 小林紀伊子▼兵庫県 CGMボランティア神戸▼和歌山県 谷祐輝▼鳥根県 桑垣真紀子▼愛媛県 四国中央市立新宮公民館▼福岡県 九州労働金庫労組福岡支部 福岡県立太宰府高等学校家庭クラブ委員会 和田久子 匿名希望▼鹿児島県 九州労金労組鹿児島支部

▼ ジャパンパイル(株)各支店▼無記名=25件

〈一般寄贈〉 7月21日～8月20日
▼北海道 美唄消費者協会 鈴木マユミ 吉澤佑子▼茨城県 金森貴子 高砂製紙(株) 斉藤唯人▼栃木県 小堀典子 渡瀬政道▼群馬県 小野寺かをる▼埼玉県 生活支援センターみんと 田口飛翔 藪陽一 飯能市立飯能第一中学校 ヤマト運輸労組北東京支部▼千葉県 匿名希望▼東京都 市川佳世子 井上一郎 上田優子 杉浦信子 豊島区ボランティアセンター切手の会 中村英恵 西尾祐飛 練馬区立光が丘春の風小学校 富士通ビー・エス・シー労組 岩瀬せつ子 (株)ジェー・シー・スタッフ 齊藤づづ 塩野公認会計士事務所 赤山由美子 (株)ことハウス 下高井戸シネマ 高垣操 手織教室はたおと 鳥居薬品(株) 花井一世 J&J愛をささやく 葛西美沙子 協同組合日本俳優連合 寺田真人 永井万紀子 久安治子 堀美紀 匿名希望▼神奈川県 青木美詠子 佐野由佳 福本アキコ 石黒琢一郎▼新潟県 地域密着型複合施設わしま▼富山県 渋谷彰一▼長野県 セイコーエプソン▼岐阜県 合渡小学校 NPO法人ささゆりあゆみ館リサイクル班 岐阜羽島ボランティア協会本部事務局 匿名希望▼静岡県 武内正子 畠中将也 アイスター商事代理店杉山美千子▼愛知県 梶原和美 江南市立布袋小学校 仙石佐知子 中村弘子 一色美和子 伊

藤常吉 瀬瀬奈美 丁里佳 村上多映子 (株)デenson (株)中外▼三重県 アイスター商事代理店川口節子 岡田夏海▼滋賀県 北川千代子▼京都府 大和ハウス工業(株)京都支社 林田鈴子▼大阪府 アイスター商事代理店田中康子 三井住友信託銀行難波支店・難波中央支店 大西祐子 大阪府書店商業組合 蔵田豊子 奈倉かおり 和田智恵子 (株)ヒラノシーリング 参河江美子 (株)ドコモCS大阪端末センター 中辻典子▼兵庫県 白羽とも子 今西正樹▼奈良県 匿名希望▼鳥取県 永原千恵▼岡山県 小川洋子 アイスター商事代理店河原美恵子 鳥越多美子▼広島県 安達敬子 中国労働金庫労組▼愛媛県 井上音楽教室▼福岡県 福岡県立太宰府高等学校家庭クラブ委員会▼佐賀県 南里勝巳▼長崎県 野中継吉▼大分県 嶋崎光平 上坂美智代 甲斐良紀▼ ジャパンパイル(株)各支店 ホームサニヨシエ▼無記名=26件

〈友愛援助申し込み〉8月1日～8月31日
▼埼玉県 桂愛幼稚園(さいたま市岩槻区)

みなさん、
どうもありがとう!!



大台達成校

8月		
西小	岡山市北区	6,015,627
牛島小	秋田市	4,006,503
富士見小	埼玉県狭山市	4,015,198
めばえ幼稚園	広島県福山市	4,000,561
横尾小	長崎市	4,006,726
小名浜第二小	福島県いわき市	3,015,202
原町小	群馬県東吾妻町	3,011,128
第四小	埼玉県新座市	3,000,953
徳間小	長野市	3,020,379
諏訪中	長野県諏訪市	3,041,541
東小	静岡県富士宮市	3,025,812
福岡小	愛知県岡崎市	3,005,717
鷺森幼稚園	和歌山市	3,051,232
名池小	山口県下関市	3,004,486
飯仲小	埼玉県川口市	2,011,164
上山小	横浜市緑区	2,000,707
千両小	愛知県豊川市	2,015,126
宇多野小	京都市右京区	2,004,189
川北小	大阪市西淀川区	2,007,220
松ヶ江南小	北九州市門司区	2,000,054
春木川小	大分県別府市	2,004,890
いるま保育園	埼玉県入間市	1,009,608
平間中	川崎市中原区	1,007,863
樋ノ口小	兵庫県西宮市	1,047,153
東野小	広島市安佐南区	1,009,529
阿武小	山口県阿武町	1,000,968